

新編の以系色はめてく磔位れ一設有入戸
碇と号れ

世の中はうくても経たり城下の

海士のと高屋を承るうて

といふはけ入戸の歌なり延喜式二十八戸
に記され城下に城方坐利十二戸とある
ハ坐利と城方あるうて今の様ふあ
らん古人城下といふハ城といふ貝ありな
る付一と云俗に座見貝と云ふ今象と書ハ万葉書
なり延喜式は方と云一も又万葉書なり

延喜式は方と云一も又万葉書に城下の
西ハ海うて大塩城といふ村あり地勢余
りより卑しす按るに古大塩の海（打城と
る事有材名と一々や今城塩と塩の字
を書ハ誤りなり一稀小塩城と雖も其
は古人といふ

一沙城城

城下の南橋の表はあり今ハ烟とめて所の
方に石垣僅ハ跡なり元和九年仁加保屋一
万石をお領せられ一時築れ一城設て古人